

# 令和5年度 常陽会フォローアップセミナーについて

常陽会学術部

平素より当会の活動にご協力頂き誠にありがとうございます。今年度もフォローアップセミナーを開催する運びとなりましたので、ご案内致します。

## 記

### 1. 担当講師

- ・機能評価・訓練のための基礎技術習得コース : 松村天裕先生
- ・手技療法基礎技術習得コース : 佐々木公一先生
- ・鍼灸師のための技術習得コース(総論・疾患別) : 横田篤広先生

### 2. 日時(別紙)

- ・令和4年7月～令和5年3月
- ・各コース1日2コマ(90分×2コマ)を5日間
- ・コースにより日程は異なります。  
※都合により、日時の変更および内容をする場合があります。ご了承下さい。  
※1つのコースから参加できます。3つ全てのコース受講も可能です。

### 3. 参加資格

- ・常陽会会員のみ
- ・セミナー参加希望者で、常陽会に入会していない方は、常陽会入会(入会金振込)を先に行ってください。

### 4. 参加費用

- ・各コース 15,000円  
※横田先生のコースは、午前・午後の両方を希望の方は 30,000円です。
- ・全てのコース同時受講も可。

セミナーへの申し込み方法、講義内容等の詳細は、別紙各案内をご参照ください。  
皆様のご参加をお待ちしております。

<お問い合わせ> 常陽会学術部(担当:吉田) Mail: joyokai.info@gmail.com

常陽会連絡用 LINE はコチラ →



令和5年度 フォローアップセミナー日程一覧

※場合により、変更となることがあります。

日時	9:00～12:10	13:00～16:10
7月2日 (日)	鍼灸師のための技術習得コース(総論) (横田)	鍼灸師のための技術習得コース(疾患別) (横田)
9月3日 (日)	鍼灸師のための技術習得コース(総論) (横田)	鍼灸師のための技術習得コース(疾患別) (横田)
10月1日 (日)	鍼灸師のための技術習得コース(総論) (横田)	鍼灸師のための技術習得コース(疾患別) (横田)
10月15日 (日)	手技療法基礎技術習得コース (佐々木)	機能評価・訓練のための基礎技術習得コース (松村)
11月5日 (日)	鍼灸師のための技術習得コース(総論) (横田)	鍼灸師のための技術習得コース(疾患別) (横田)
11月12日 (日)	手技療法基礎技術習得コース (佐々木)	機能評価・訓練のための基礎技術習得コース (松村)
12月3日 (日)	鍼灸師のための技術習得コース(総論) (横田)	鍼灸師のための技術習得コース(疾患別) (横田)
12月10日 (日)	手技療法基礎技術習得コース (佐々木)	
12月17日 (日)		機能評価・訓練のための基礎技術習得コース (松村)
1月14日 (日)	手技療法基礎技術習得コース (佐々木)	機能評価・訓練のための基礎技術習得コース (松村)
3月10日 (日)	手技療法基礎技術習得コース (佐々木)	機能評価・訓練のための基礎技術習得コース (松村)

令和5年度 常陽会主催フォローアップセミナー①

# 機能評価・訓練のための 基礎技術習得コース

このセミナーは、当校の同窓会である常陽会主催のフォローアップセミナーです。

機能評価・訓練の基礎技術は、特別養護老人ホームやデイサービスなどの介護施設でニーズの高い『機能訓練指導員』として求められている技術です。

本校で学んだ知識や技術をさらに昇華させ、臨床の現場で活かせるように学んでいきます。

本校で教鞭をとっている松村先生に、機能訓練指導員がリハビリ現場で主に求められる MMT や ROM といった評価方法などの基礎技術を修得することを目的として設置されました。

内容は「ROM や MMT などの評価方法」、「リハビリのプログラム作成及び実施」

「症状に合わせた手技療法」を中心に1年間で年5回（10時限「1時限は1時間30分」）の講義です。

8時限以上出席した方には、常陽会名による講習会修了書を授与いたします。

## 募集要項

### ●応募資格

1. 常陽会会員で医療資格免許取得者（あん摩マッサージ指圧師、はり師・きゅう師、柔道整復師等）、

### ●定員 20名

先着順で受け付けます。定員になりしだい締め切ります。

### ●受講料 15,000円

### ●会場 本校7階実技室

### ●募集期間

令和5年4月3日(月)から6月23日(金)

## 【申し込み方法】

以下の項目をメールまたはLINEにてお送り下さい。

①生年月日、年齢 ②住所 ③電話番号（日中連絡可能なもの） ④免許証番号（あま指師、柔道整復師、その他の医療資格） ⑤東京医療福祉専門学校卒業年度、学科

※各項目の書き漏れがないようお願い致します。

開催決定及び講習会参加の可否及び受講料の振込先銀行口座は追って連絡致します。

なお、期日までに受講料が振り込まれない場合は、受講資格が無効となります。お気を付け下さい。

【問合せ先】 東京医療福祉専門学校 （担当：吉田）

TEL 03(3551)5751 Mail: joyokai.info@gmail.com または常陽会 LINE

## ■講義日程・内容

### ●ROM、MMT、ADL 訓練、評価表・プログラム作成

#### プログラム作成

- \*ROM の基本的知識の確認、動作を正確に行う
- \*MMT の評価内容、各筋肉の作用を確認する
- \*ROM、MMT を正確に扱い、状況に応じた訓練を行う。
- \*身体評価から得られた情報をまとめ、カルテ作成及びプログラムを作成する。

※下記は昨年度実績です。

	講義内容
1	ROM（上肢）
2	（下肢）
3	MMT（上肢）
4	（下肢）
5	ROM 訓練①
6	②
7	ADL①
8	ADL②
9	プログラム作成
10	プログラム実施

- ※各技術の熟練度によって内容を変更することがあります。
- ※学校行事等により日程を変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

#### <機能訓練指導員とは>

特別養護老人ホームや、デイサービスで一人以上の配置が定められている大変ニーズのある職業です。おもに介護施設（デイサービス、老人ホーム、病院）などで日常生活能力の向上を目的とし、高齢者へのリハビリ訓練を行います。近年、この機能訓練をメインにしたデイサービスやリハビリ施設も多く開業され、活躍の場はさらに広がっています。

デイサービスを運営するには行政の定める「配置要件」があり、必要な資格を持ったスタッフを配置する必要があります。

「機能訓練指導員」はデイサービスにおいて、必ず一人は配置しなくてはならない、重要な職種です。

#### <主な勤務場所>

1. デイサービス（通所介護施設）
2. 機能訓練特化型デイサービス
3. 介護施設（特別養護老人ホーム、有料老人ホームなど）
4. 病院（リハビリテーション）

#### <資格要件>

- ①柔道整復師      ②作業療法士・理学療法士      ③言語聴覚士      ④あん摩マッサージ指圧師  
⑤看護師・准看護師      ⑥はり師・きゅう師      上記、いずれかの資格を有しているもの。

※本セミナーは、機能訓練指導員に必要な基礎技術（ROM、MMT 等）を習得することが目的です。

令和5年度 常陽会主催フォローアップセミナー②

# 手技療法基礎技術習得コース

## ～操体法から広がる手技療法～

このセミナーは、当校の同窓会である常陽会主催のフォローアップセミナーです。

常陽会学術講習会で好評だった佐々木公一先生による手技療法基礎技術習得コースです。

様々な手技療法に精通している佐々木先生に、操体法を中心とした手技療法の基礎技術を教えて頂きます。

「操体法」は橋本敬三医師（1897～1993）により作られたもので、全身から各指先の細部におよぶ具体的な体系的な体の動かし方をいいます。

内容としては、操体法の基本的な概念や手技を中心に、「触る」という手技療法の基本を学びます。

本校で学んだ知識や技術をさらに昇華させ、身体の診方や触り方を臨床の現場で活かせるように学んでいきます。

1年間で年5回（10時限「1時限は1時間30分」）の講義です。

8時限以上出席した方には、常陽会名による講習会修了書を授与いたします。

### 募集要項

●応募資格

1. 常陽会会員（全科在学生、卒業生）

●定員 20名

先着順で受け付けます。定員になりしだい締め切ります。

●受講料 15,000円

●会場 本校7階実技室または8階実技室

●募集期間

令和5年4月3日(月)から6月23日(金)

**【申し込み方法】**以下の項目をメールまたはLINEにてお送り下さい。

①生年月日、年齢 ②住所 ③電話番号（日中連絡可能なもの） ④免許証番号（あま指師、柔道整復師、その他の医療資格）⑤東京医療福祉専門学校卒業年度、学科

※各項目の書き漏れがないようお願い致します。

※④免許証番号は、有資格者の方のみ明記して下さい。無い場合は、必要ありません。

開催決定及び講習会参加の可否及び受講料の振込先銀行口座は追って連絡致します。

なお、期日までに受講料が振り込まれない場合は、受講資格が無効となります。お気を付け下さい。

**【問合せ先】** 東京医療福祉専門学校（担当：吉田）

TEL 03(3551)5751 Mail: joyokai.info@gmail.com または常陽会 LINE

## ■講義日程・内容

### ●手技療法の基礎技術習得、操体法入門・応用

- \* 「正確に触る技術」を身に付ける
- \* 触るときの身体の使い方を学ぶ
- \* 操体法の理念、方法を学ぶ
- \* 各体位、各疾患に対してのアプローチ方法を学ぶ

	講義内容
1	操体法概論。「補助抵抗」か「つり合い」か。動の操体①
2	動の操体②
3	圧痛の活かし方。逃げ方の観察と圧痛操法。
4	痛みと動作
5	皮膚の操体
6	皮膚での動作の誘導
7	想の操体
8	環の操体
9	応用手技療法①
10	応用手技療法②

※各技術の熟練度によって内容を変更することがあります。

※学校行事等により日程を変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

以下、ゆる操体研究会HPより抜粋

＜操体法の由来と橋本敬三、高橋迪雄＞

整形外科の開業医であった橋本敬三博士は、自らのところに来診した患者のその後の流れを調べるうちに、鍼灸や整体などの民間療法に患者が行くのを知り、鍼灸などの東洋医学を研究するために、鍼灸学校に入学し、また、高橋迪雄（みちお）の正体術（正體術）をはじめとする民間療法を研究した。

その過程で、伝統的に行われていた治療法にヒントを得て、操体法 という画期的な健康法・治療法を確立した。

＜橋本敬三医師の操体法の特徴＞

具体的には、痛みやつっぱりを感じる時、痛い方向・つっぱる方向から、痛くない方向・つっぱりを感じない方向にゆっくり動かし、最後にすっと力を抜くと歪みが解消されるという方法を探る。

初期の理論（著書に詳しい）では、客観的に骨格構造を観察して、運動系の歪みを修正（治療）することを主題としているのが特徴。

以上

# 鍼灸師のための技術習得コース

## ～今日から使える症候別即効治療～

このセミナーは、当校の同窓会である常陽会主催のフォローアップセミナーです。

日本董氏奇穴鍼灸学会王醫塾の王医仙先生に師事し、当校の中医学授業を担当している横田篤広先生に、総論は当校で習った中医学の復習に、疾患別は「困ったときのこの1本」として今日から使える症候別即効治療を教えてくださいます。

皆様は、時として様々な症候の病態把握や治療の組み立てに窮することもあるかと思います。効果のあるはり治療とは何か？どのように病態を分析すればよいのか？どこに鍼をすれば良いのか？その答えの一端が掴めるはずです。

内容は、経絡と経穴の臨床における運用方法を取り上げます。1年間で年5回（10時限「1時限は1時間30分」）の講義です。8時限以上出席した方には、常陽会名による講習会修了書を授与いたします。

### 募集要項

●応募資格 （1、2とも要件を満たしている方のみ）

1. 常陽会会員であり師免許取得者 2. 鍼灸賠償責任保険加入者 ※保険会社の指定はありません。

※今年度から午前は総論、午後は疾患別の講義になります。

※①午前総論のみ ②午後疾患別のみ ③午前・午後の両方受講を選択して下さい。

●定員 20名

先着順で受け付けます。定員になりしだい締め切ります。

●受講料 ①午前総論のみ 15,000円 ②午後疾患別のみ 15,000円 ③両方 30,000円

●会場 本校7階実技室

●募集期間

令和5年4月3日(月)から6月23日(金)

### 【申し込み方法】

以下の項目をメールまたはLINEにてお送り下さい。

①生年月日、年齢 ②住所 ③電話番号（日中連絡可能なもの） ④免許証番号（はり師）

⑤東京医療福祉専門学校卒業年度、学科 ⑥鍼灸賠償責任保険加入の有無

※各項目の書き漏れがないようお願い致します。

※⑥鍼灸賠償責任保険に未加入の方は、常陽会会員向けの保険をご紹介します。お問合せ下さい。

開催決定及び講習会参加の可否及び受講料の振込先銀行口座は追って連絡致します。

なお、期日までに受講料が振り込まれない場合は、受講資格が無効となります。お気を付け下さい。

【問合せ先】 東京医療福祉専門学校 （担当：吉田）

TEL 03 (3551) 5751 Mail: joyokai.info@gmail.com またはLINE

## ■講義日程・内容

### ●病態分析、症候別はり治療

- \*病態分析を中医学に基づいて行う
- \*鍼を正しく扱える
- \*経穴を正しく取穴できる
- \*効果の出る刺し方ができる

#### <午前> 総論

	講義内容
1	①概論 ②気血津液論
2	手足の穴(陰経)
3	臟腑論
4	手足の穴(陽経)
5	①病因論 ②経絡論
6	体幹の穴(腰背殿部)
7	①舌診 ②脈診
8	体幹の穴(胸腹部)
9	①腹診 ②配穴法
10	頭部顔面部の穴

#### <午後> 疾患別

	講義内容
1	①病の病因病機 ②経絡・経筋の走行
2	①腰痛 ②腰下肢痛
3	①肩凝り・上肢痛 ②眼精疲労・頭痛
4	①五十肩 ②股関節痛
5	①肘痛 ②膝痛
6	①眩暈・耳鳴 ②不眠
7	①内臓疾患について ②臟腑疾患の病因病機学
8	①消化器疾患 ②浮腫
9	①呼吸器疾患 ②皮膚疾患
10	①生殖器疾患 ②泌尿器疾患

※各技術の熟練度によって内容を変更することがあります。  
※学校行事等により日程を変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

以上